

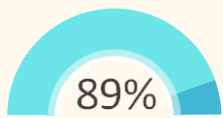
授業評価アンケート結果から見える福岡教育大学の授業改善状況 (2024年度前期)

授業は、学生の皆さんと教員の双方の努力と協力によってつくり上げていくものです。

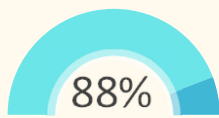
福岡教育大学は、授業方法・内容の改善を図り、学生の皆さんにとってより良い学習環境となるよう取り組みます。

授業評価アンケート結果

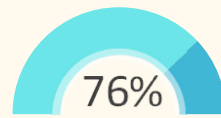
※学生回答率 59.22% ※以下は回答者内の割合です。



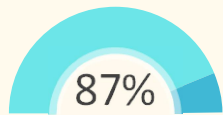
総合的に満足した
(やや満足を含む)



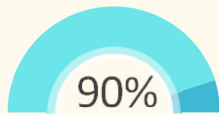
関心・意欲を高めるものだった
(ややそう思うを含む)



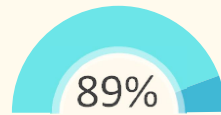
進行速度は適切だった
(ちょうど良かった)



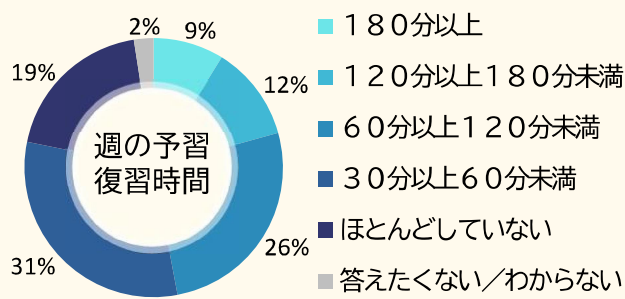
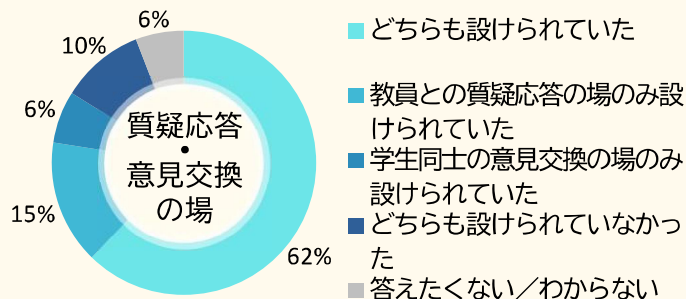
内容を十分、理解・修得できた
(ややそう思うを含む)



教員を目指す上で有意義だった
(ややそう思うを含む)



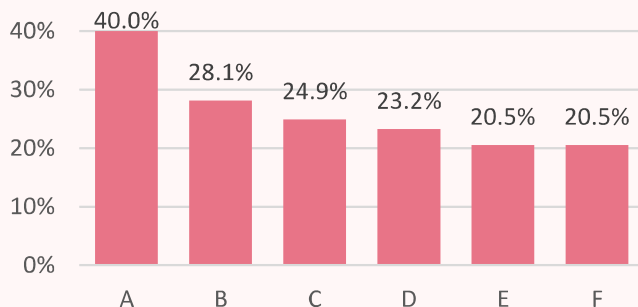
主体的に取り組むことができた
(ややそう思うを含む)



教員が取り入れたいと思う改善案

- A 授業時間外の学習の指示を明確にする
- B 授業内容の精選を行う
- C 授業の進行速度を調整する
- D 授業内容の難易度を調整する
- E 話す内容をわかりやすくするように工夫する
- F 授業資料の配付の方法や内容を工夫する

※いくつかの選択肢から教員が選んだ割合の多かった改善案を挙げています。(複数選択あり)



上記以外に…

- 自分の言葉で考える・まとめ直すことの注意喚起
- 学生との今日的な興味・関心に寄り添った社会認識の事例を選択する
- 双方向性講義内容の工夫(学生同士で議論するなど)
- 分担している教員との教材・教授法など統一性をはかるべく連携していく

教員の自評(一例)

- 対話を通じた授業展開により、学生と教員、学生同士のグループディスカッションの内容が一層深まった
- 授業時間外の学習時間が少ない学生が多いため、演習課題の充実を図り、受講生各自が自分のペースで取り組めるよう授業内容の精選を検討したい

【FD(ファカルティ・ディベロップメント)って?】

あまり聞きなれないという方もいるのではないのでしょうか。FDの始まりは米国で、日本では「教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取り組みの総称」とされています。このアンケートはその一つです。

【お問い合わせ】

福岡教育大学 教育支援課教務企画室
TEL : 0940-35-1287
Email : kyomu-1@fukuoka-edu.ac.jp
URL : <https://www.fukuoka-edu.ac.jp/>